

活発な国際交流

13カ国19大学と協定を結んでいる本学は、活発な国際交流を展開している。1カ月間から1年間まで多種多様な留学プログラムが設けられ、やりなおし英語講座やTOEFLセミナーなど留学準備のための講座も充実している。協定校などから多数の留学生が本学に学びに来ており、キャンパス内の国際交流も盛んだ。

会話の機会づくりで話すことが楽しく...

ネブラスカ大・中期留学体験記

岩崎 由美(文3)



▲クラスメートと一緒に
(右から2人目が岩崎さん)

米国ネブラスカ大学リンカーン校での4カ月間の留学は、私にとって大変大きなものとなりました。今まで海外へ行ったことがなく不安もありましたが、行ってみると毎日が新鮮で、驚きと発見に満ち溢れていました。最初は相手の言っていることが分からず、自分の英語力の無さに悔しい思いをすることも多々ありました。ここでは何をすることも英語が必要。それからは勉強も自分なりに頑張り、時間を有効に使うよう心がけるようになりました。授業では毎日宿題がたくさん出され、慣れるまでは大変と感じましたが、それもすぐに日課になりました。留学前の目標は、自分から積極的に英語で話しかけ、英語に対する姿勢を変えること。まずその第一段階として、大学を通してイングリッシュ・カンパセーション・パートナーを紹介してもらいました。短い期間でしたが、ときには友達との集まりに招待してもらうなど会話の機会を自ら作って、最後には英語を話すことが楽しくなっていました。この留学を通して、多くのことを経験し、言葉では言い表せないほどです。日本にいる時のようなたくさんの誘惑から引き離されることによって、集中して勉強出来ただけでなく、自分のことを振り返るよききっかけにもなりました。自分の人生観が変わり、精神的にも強くなれた気がします。今回の留学は、私にとって大変貴重な体験になったので、留学中に自分が考えたことを決して忘れることなく、これからの生活に生かしていきたいと思います。

専大で学んだこと大切に

特別聴講生
許 成宇(ホ ソンウ)さん

(韓国 檀国大学日語日本文学専攻)に聞く



厳しい軍隊生活 両親への感謝

昨年4月から田口冬樹教授の指導のもとで経営学部へ学び3月、韓国に帰国します。韓国では兵制度があるのを知っていますか？成人男性は24カ月間、軍隊生活を送

ることが義務づけられ、厳しい訓練の日々が待ち受けています。私も檀国大学1年次の終わりに徴兵生活に入りましたが、思うことがあり、職業軍人となりました。軍隊では何から何まで自分でやらなければなりませんから肉体的にも精神的にも鍛えられます。

北朝鮮との38度線国境近くの基地で訓練していた01年「9・11」同時多発テロ勃発時、北朝鮮側との間に「緊張情報」が走りました。しばらくしてその「緊張」が解けた時、若い軍人たちがこぞってやったことは、故郷のお母さんに電話をかけて無事を喜んだことです。もちろん私も母に電話をしました。軍隊では親のありがたみが身にしみて分かるようになります。

熱のこもったゼミ授業に感動

徴兵を含め通算6年間の軍隊生活にピリオドを打ち、大学に復学。せっかく生まれてきて大学に入ったのだから外国での生活を体験しようと昨年日本に来たのです。「韓流」ブーム真っ盛りの日本で暮らし友達もたくさん出来ました。

専大に学び最も印象に残ったのは、ゼミナールです。学生たちが少人数で討論し研究するゼミ形式というものは、韓国の大学ではほとんどみられません。討論に夢中になって5時間も6時間も授業が続くことがあるのにはびっくりしました。「学生たちに何かひとつでも教えたい」というひたむきな意欲が伝わってくる田口先生の熱心な姿には感動すら覚えました。田口ゼミのみなさんに感謝です。

日本で学んできたことをこれからの人生に生かし、誠実な人間になりたい。そして北朝鮮との統一が、一日も早く来ることを祈っています。

04年度(平16)春期留学プログラム参加者一覧

7大学へ129人

サスケハナ大学(アメリカ) 2/5~3/27

下川原 憲一(経済3)	筒井 悠(経営2)	城所 正樹(文3)	木田 優子(〃)
川村 哲章(〃)	小林 一茂(〃)	奥住 紘子(文2)	渡会 悠介(〃)
森 隼人(経済1)	澤田ひろ子(商2)	中村 綾(〃)	錦織 誠(文1)

イリノイ大学アーバナ・シャンペイン校(アメリカ) 2/19~3/20

綱島百合子(経済2)	高田 智加(法2)	篠崎 英里(商1)	野本 翔平(〃)
堀内 優子(〃)	永田 理子(経営2)	水田 駿(文3)	赤瀬 慶子(文1)
柴田 幹(経済1)	保坂 純亮(〃)	森 大哲(文2)	佐藤 英次(ネット情報2)

シドニー工科大学(オーストラリア) 2/5~3/12

琴賀岡宏美(経営2)	八木 郁矢(経営1)	>佐藤かおり(文2)	小嶋 千明(文1)
早川 詩織(〃)	酒井 彩美(文3)	齋藤祐佳里(〃)	
飯川 宜子(〃)	田上 恵美()	佐藤 彩子()	

ワイカト大学(ニュージーランド) 2/5~3/6

杉浦 顕(経済2)>	千葉 梓(経営1)	加藤万里絵(〃)>	武村 幸(文1)
佐々木真美(法2)	石原 伶奈(文3)	岩瀬明日香(〃)	稲垣 友佳(〃)
森永 絢子(経営2)	近藤 聡美(〃)	岩澤瑛里子(〃)	荒川 千秋(〃)

上海大学(中国) 2/20~3/19

川田 大智(経済2)	岸川 慎司(〃)	石川 達也(法1)	伊藤 彰大(〃)
坂本孝太郎(〃)	川口 智子(〃)	持田いづみ(〃)	大峰 涉(文1)
大金奈緒子(〃)	河本志津子(経済1)	森本 進(経営2)	大美賀あやの(〃)
		坪川 明花(経営)	

鈴木 聖一(")	清水 咲子(")	1)	佐野 友幸(")
三浦 弓(")	上野可南子(")	井上 直樹(商 2)	渡邊はる香(")
池田真委子(")	佐野 準(")	佐藤絵梨香(文 2)	若林恵美(ネット情報2)
村松 圭(")	廣岡つば沙(法 3)	鳴川 愛(")	安部美乃里(ネット情報1)
小池 洋(")	小川 雅弘(法 2)	長嶺つかさ(")	田中 澄子(")
佐々木光広(")	櫛谷 昌代(")	下荒地玲子(")	大塚 浩君(2部法2)
末吉 俊郎(経済 1)	青野 雄也(")	古賀ひとみ(")	

トウレーヌ語学センター (フランス) 2/26~3/27

瓜田亜沙美(経済2)	里見 風樹(")	澤口まり子(商 2)	原田麻衣子(")
仁平井一晃(")	佐竹かおる(法 1)	竹澤 美希(商 1)	腰高 優実(")
櫻野 敏文(")	藤井 俊幸(")	西村 佳子(")	塩入 響子(")
川手 康祐(")	安川 進(経営2)	李 賢淑(文 3)	澤井 裕子(")
菊池 利実(")	稲川 光(")	小澤 康平(")	木村奈々子(")
長濱 淳子(法 2)	近藤恵美子(")	天川三和子(文 2)	齋藤 実帆(文 1)

バルセロナ大学 (スペイン) 2/12~3/13

高橋 羽蘭(経済2)	神山 亮介(")	馬場 香織(")	小野澤真美(")
真鍋 綾子(")	瀬下 允亮(")	熊川 佳宏(商 2)	矢野 哲平(文 1)
志谷智佳子(")	中野美菜子(法 1)	山科亜結子(文 4)	齊藤可奈枝(")
田中久美子(")	赤嶺 徳子(")	中埜 綾(文 3)	木村 亮(")
板子 直樹(経済1)	山岸美沙子(経営2)	小坂 晋也(文 2)	宮本 真希(")

冬期日本語・日本事情プログラムに41人来学



2005年冬期日本語・日本事情プログラムが1月14日からスタートし、フランスのリヨン第2大学、台湾の文藻外語学院など10カ国・地域からの短期留学生41人が生田キャンパスに学んでいる。同17日には開講式と歓迎会が行われ、教職員やキャンパスアシスタント学生の歓迎を受けた。

短期留学生は3月5日まで7週間(リヨン第2大学大学院生11人のみ9週間)にわたり日本語学習のほか企業見学、歌舞伎鑑賞といったビジネスや文化も体験。

2月28日(月)には日本語プレゼンテーションを行う。

仏、独に3人が長期留学

05年度(平17)長期交換留学生のうち、フランスとドイツの2大学への留学生3人が次の通り決まり、1月18日生田キャンパスで、大林守国際交流センター長から長期交換留学プログラム許可書と長期交換留学奨学生採用通知が渡された(敬称略)。

▽リュミエール・リヨン第2大学(フランス) 島守沙知(経済3) / 小長野航太(院文博2)

▽マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク(ドイツ) 大久保渉(文3)

英語力をつける読書ガイド<10>

インターネットサイトは新語の「辞書」

Jeffrey C. Fryckman(文学部助教授)



Today there is a vast amount of information on the Internet that can be accessed instantly and easily. One area of this information that can be of great fun and use to more advanced learners of English, and to those who have jobs or careers that require a contemporary, up-to-date, and high-level vocabulary, or a specialized, jargon-oriented vocabulary, are the numerous sites that list and explain new words in English or new uses of English words. These sites are sometimes operated by dictionary companies, and charge a fee to access most of their information, though they often have sample or example entries for free. However, there are also other sites operated by professors, student groups, and hobbyists that are free. On these sites you can get the latest English words, terms and phrases, expand your vocabulary, and learn new and different usages for words you may think you already know.

Two examples of such sites are *New Words in English* (<http://www.owl.net.rice.edu/~ling215/NewWords/>) and *The Word Spy* (<http://www.wordspy.com/>). On these sites there are alphabetical indexes and search functions. You can browse through the lists of new words/meanings, or search for a specific word you saw in a newspaper or heard on television, but aren't sure of its meaning. An example, from *New Words in English* is the now-common e-mail/memo term "BTW," which stands for "by the way." Another term on this site is "going postal," which means "to lose control" or "go insane," and is derived from the cases of post office workers killing their fellow employees due to stress.

From *The Word Spy*, there are several entries that might interest Japanese people. One is a new meaning/use for the word "samurai." It is used to describe "a computer hacker hired to legally infiltrate corporate computer systems for legitimate reasons." Another is the new word "Jappening," which is a compound of "Japan" and "happening," and is defined as "of, or relating to, stylish designs and products from Japan." And finally, Japanese readers might be surprised that a word originally coined in Japan - "skinship" - has entered use in international English.

These are examples from but two of the sites you can find on the Internet by simply typing "new words" into your favorite search engine.

【ニュース専修2005年2月号9面】